

総合医学講座 眼科学分野 紹介

眼科学分野は現在スタッフ医師3名で、医科歯科総合病院での外来・入院診療、白内障、緑内障、網膜剥離や糖尿病網膜症などの手術治療を中心に活動しています。あたらしい検査、手術機器が整っており、多くの眼疾患に手術までを含めた対応が可能となっています。また、ベーチェット病やフォークト・小柳・原田病などの入院を要するような重症ぶどう膜炎の診断と治療、まぶたや眼窩に生ずる腫瘍性・炎症性疾患などを得意分野としています。

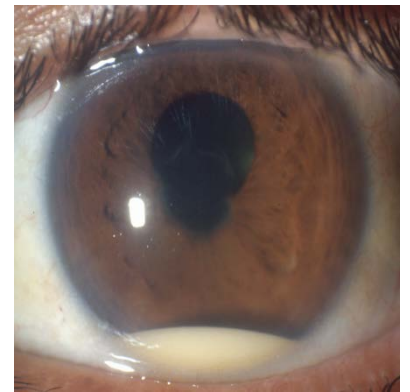
研究テーマ

1. 眼炎症性疾患に関する臨床研究

ぶどう膜炎患者や種々の眼底疾患(黄斑前膜および黄斑円孔)の硝子体手術検体を用いて、それぞれの疾患における眼内浸潤細胞、およびサイトカインの解析をおこなっています。(九州大学との共同研究)



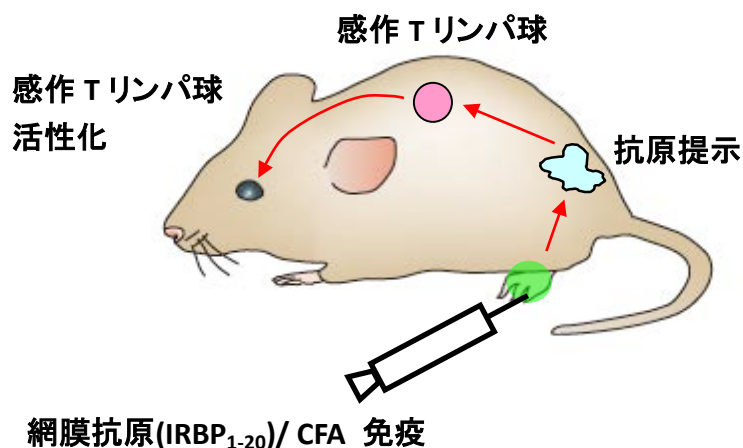
サルコイドーシス



ベーチェット病

2. 眼炎症性疾患に関する実験的研究

実験的自己免疫性ぶどう膜炎モデルを用いて、眼炎症制御機構の解析と新しい治療法の開発をおこなっています。(九州大学との共同研究)。



実験的自己免疫性ぶどう膜炎



上段：ラット
下段：マウス